

Smart City TOYAMA

～海辺の村を輝かせよう！～

産学官民の共創で推進する
富山市版スマートシティ

富山市スマートシティ推進課

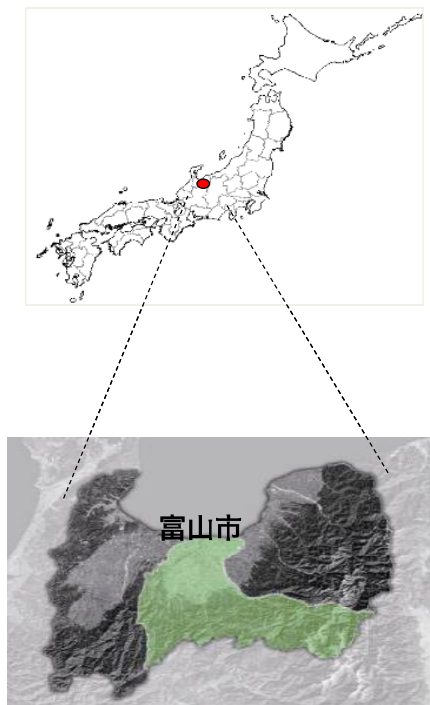


Toyama City

富山市の概要

- 人口約40万人（富山県全体の約4割）
- 面積は約1,200km²（富山県全体の約3割）
- 海拔0m（富山湾）から2,986m（水晶岳）までの多様な地形

▼日本地図



▲富山県全図



▲ 富山駅上空からみた富山市の市街地（富山平野）

Smart City

スマートシティ先進的モデル事業

基本スキーム

① 課題抽出ワークショップ

地域の代表の方々と共に課題と強みを分析するワークショップの開催

② SCRUM-T会員の皆様からの事業提案

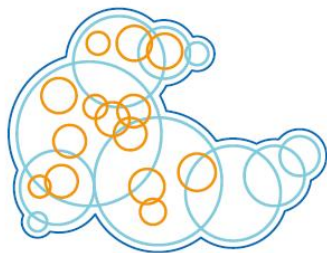
共創の理念のもと、会員企業の皆様からの課題解決に資する事業提案の募集

③ モデル事業の実施

行政・地域・企業の力を合わせモデル事業の実施。全市的横展開を目指す

まちの「しんか」

できる、ひろがる、デジタル



Smart City TQYAMA



誰一人取り残されことなく
便利で安心して暮らせるまち

A town where no one is left behind,
where people can live
conveniently and safely.



地域の宝を未来へつなぐ
地域づくり・人づくりのまち

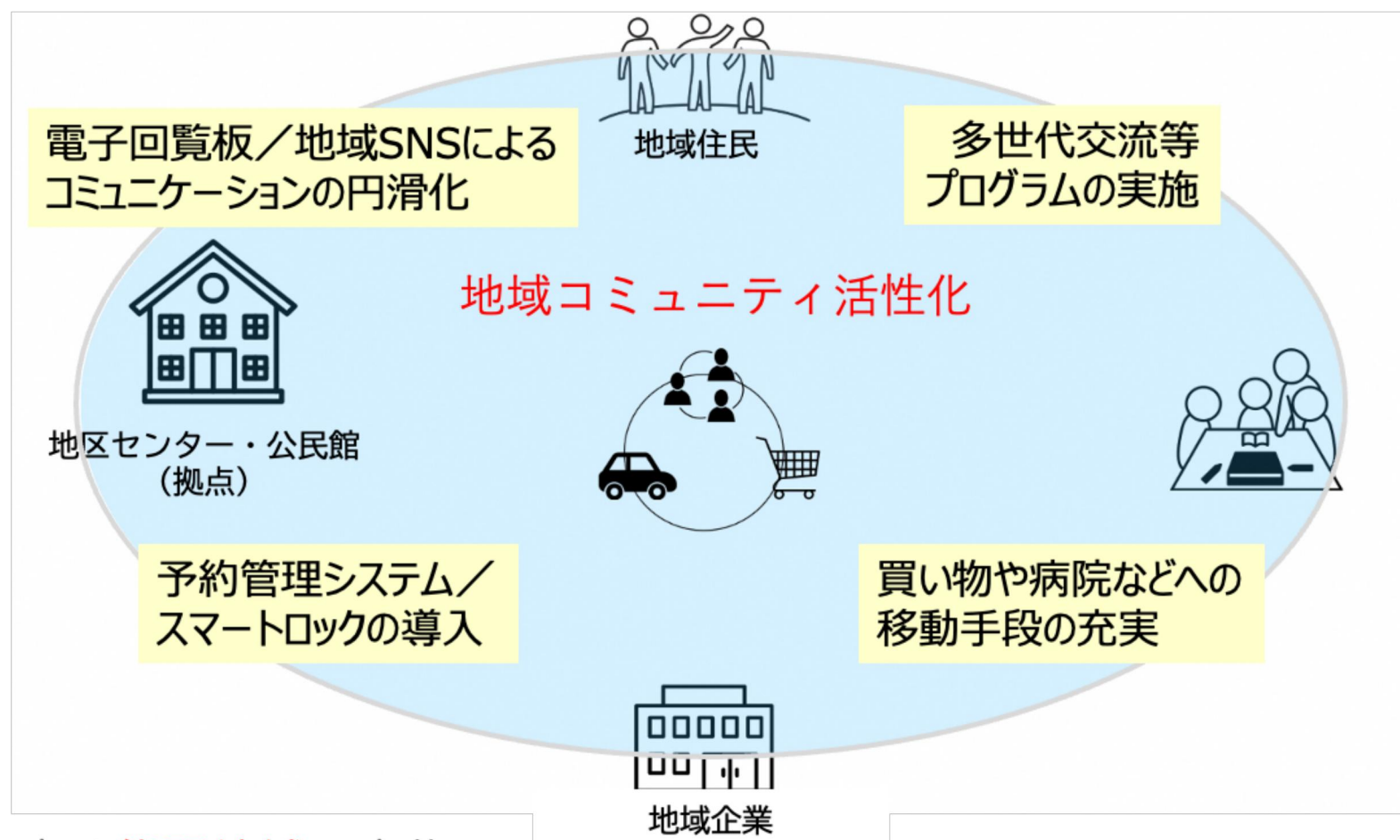
Connecting Local Treasures to
the Future and a community
that fosters community
and people development.



互いの地域を尊重し支えあう
一体感のある持続可能なまち

A sustainable town with a sense of unity
where people respect and support
each other's community.

- ✓ デジタル技術の活用による生活の利便性の向上と地域コミュニティの活性化
- ✓ 他地域へも広げることで全市的なスマートシティを推進



令和 7 年度は熊野地域で実施

Compact City

コンパクトシティでいうと・・・

公共交通を軸とした拠点集中型の
コンパクトなまちづくり

串とお団子から外れた地区は・・・

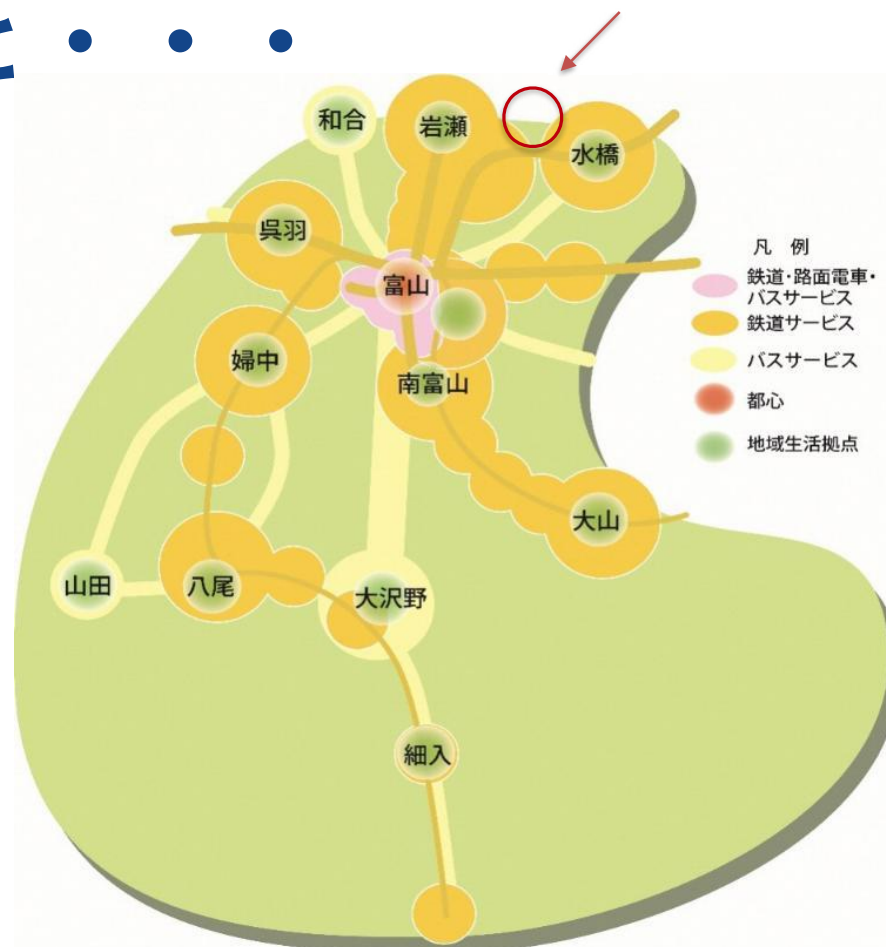
<概念図>

串とお団子の都市構造

串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子：串で結ばれた徒歩圏

今回対象となる浜黒崎地区



Business platform

富山市スマートシティ推進プラットフォーム

富山市版スマートシティを
実現するための産学官連携組織

通称 **“SCRUM-T”**

Smart City Realizing Unit Membership - Toyama



Business platform

SCRUM - T (富山市スマートシティ推進プラットフォーム)

共創会員

25



株式会社 富山環境整備

MITAST ケーブルテレビ富山



GAS COMPANY 日本海ガス



北日本新聞社



Marubeni



株式会社 アイペック



富山地方鉄道株式会社



SoftBank



docomo Business



スタートアップ会員

128

一般会員

155

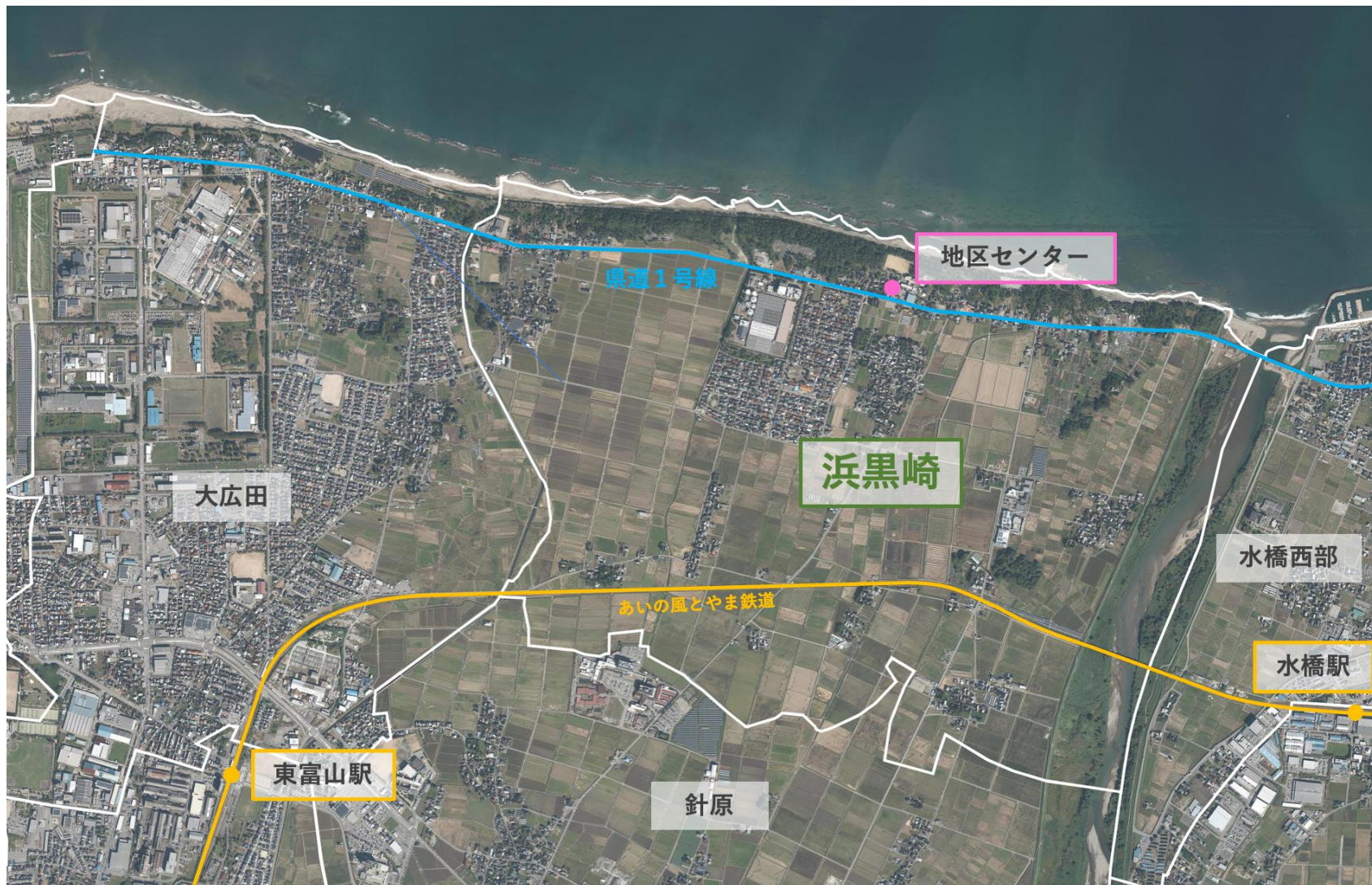
計

308

企業・団体

※2026年8月末現在

浜黒崎地区



浜黒崎地区



浜黒崎地区



浜黒崎地区



課題抽出ワークショップ

地域の代表の方々と、課題と強みを分析するワークショップの開催





SCRUM-T

課題抽出ワークショップ

地域の代表の方々と、課題と強みを分析するワークショップの開催

	課題	強み
A	- 若者が少ない（学校がなくなったことが大きい） - お店が少ない - 高齢者の一人暮らしが多い	海、キャンプ場があり環境がよい - 近所付き合いがあり、年代ごとにまとまりがある - 畑で好きな野菜がつかれる
B	- 公共交通の便が非常に悪い（フィーダーバスもコースがよくなく、これで買い物や病院行けない） - 釣り人等の外から来られる方がいて治安面で心配がある、夜が怖い、駐在所にも人が常駐していない - 商業施設が少ない（病院、歯科等もない）	- 近所付き合いがよい、お互いに顔見知り、人の交流が活発 - 自然が豊かで松林や田畑、星などの景観がよい - 浜黒崎の浜辺は砂鉄が多い砂浜である（名前の由来）
C	- 交通手段が少ない、歩くと遠い - 交流の場がない、学校がなくなったせいで集まりにくくなった - 青年層も子どもも全体的に少なくなり、役員等を回すのが大変	- 人情が厚い地域 - 景色がよい、風景がよい、よい環境 - 地域がコンパクトでまとまりやすい
D	- 人が減っており、世代間の交流が減少して、より若い世代への移り変わりがしにくい - 外から来て止められる駐車場が少ない - 空き家が多くなっている	- 人がよくて、のどかで暮らしやすい - サイクリングロードや釣りができる海、撮り鉄のスポットなどがある（が、強みになりきれしていないか） - 空き家は人が入る余地としては強みである
E	- 高齢化率が高い、若者の参加が少ない - 空き家が増えている - 地域の担い手が極めて少ないので、公的な空間の維持管理ができなくなってきている、自分たち自らやろうという気持ちが低くて、すぐ公助に頼ろうとする - 公共交通がバスしかなく、頻度やコースが限定的	- 町内のみなさんの顔が見える、近所付き合いがよい、安心感につながる、災害時も自然に助け合いが生まれる - 海が近くてキャンプ場があり、緑が多く立山連峰のビューポイントがたくさんある - 家の敷地が広い



SCRUM-T

課題抽出ワークショップ

マインドマップ | 課題① | 交通不便・お店少ない問題-1

公共交通の使い勝手が悪くて買い物や通院、通学にくい

そもそも車社会なので、普通の方はバスには乗らない

バス利用者は高齢者や学生だが、彼らが行きたいところにバスが行っていない

南北の公共交通がない

ぐるっと回ってくれるルートがあればよい

バスのルートがよくない（＝行きたいところにつながっていない）

近くまでは来ているが、浜黒崎まで伸びていない

水橋の商業施設まで歩ける人は行ける。が、そのような人はそんなにはいない。

高校生は岩瀬から通学するなどして不便

ただ、学生利用でバスは支えられていることもある

バスの本数が少ない（1-2本/h）

バス停が県道沿いにしかない

人も少ないので便も減ってしまう

悪循環になっている

電車があると移動しやすい

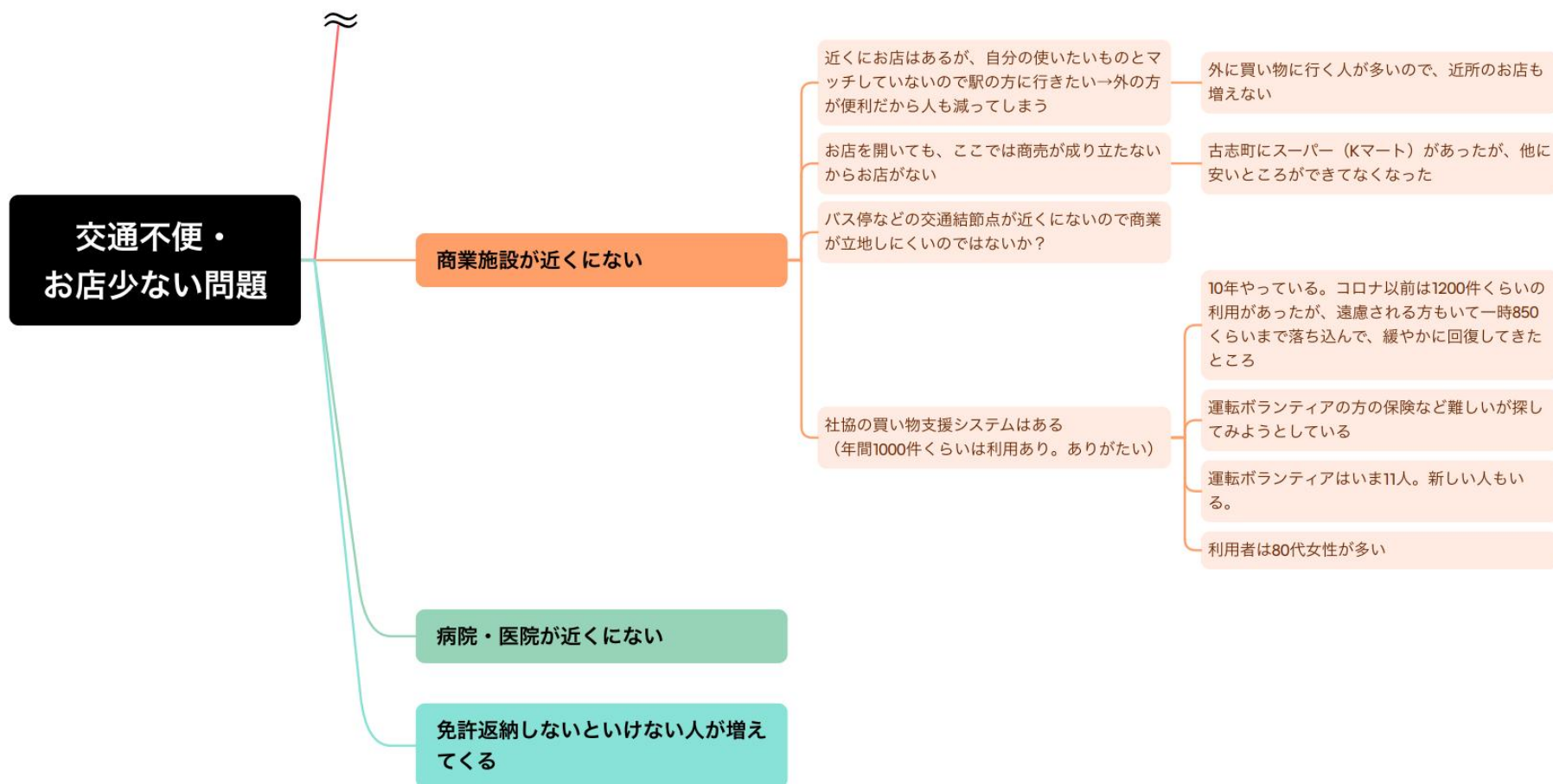
交通不便・
お店少ない問題



SCRUM-T

課題抽出ワークショップ

マインドマップ | 課題① | 交通不便・お店少ない問題-2

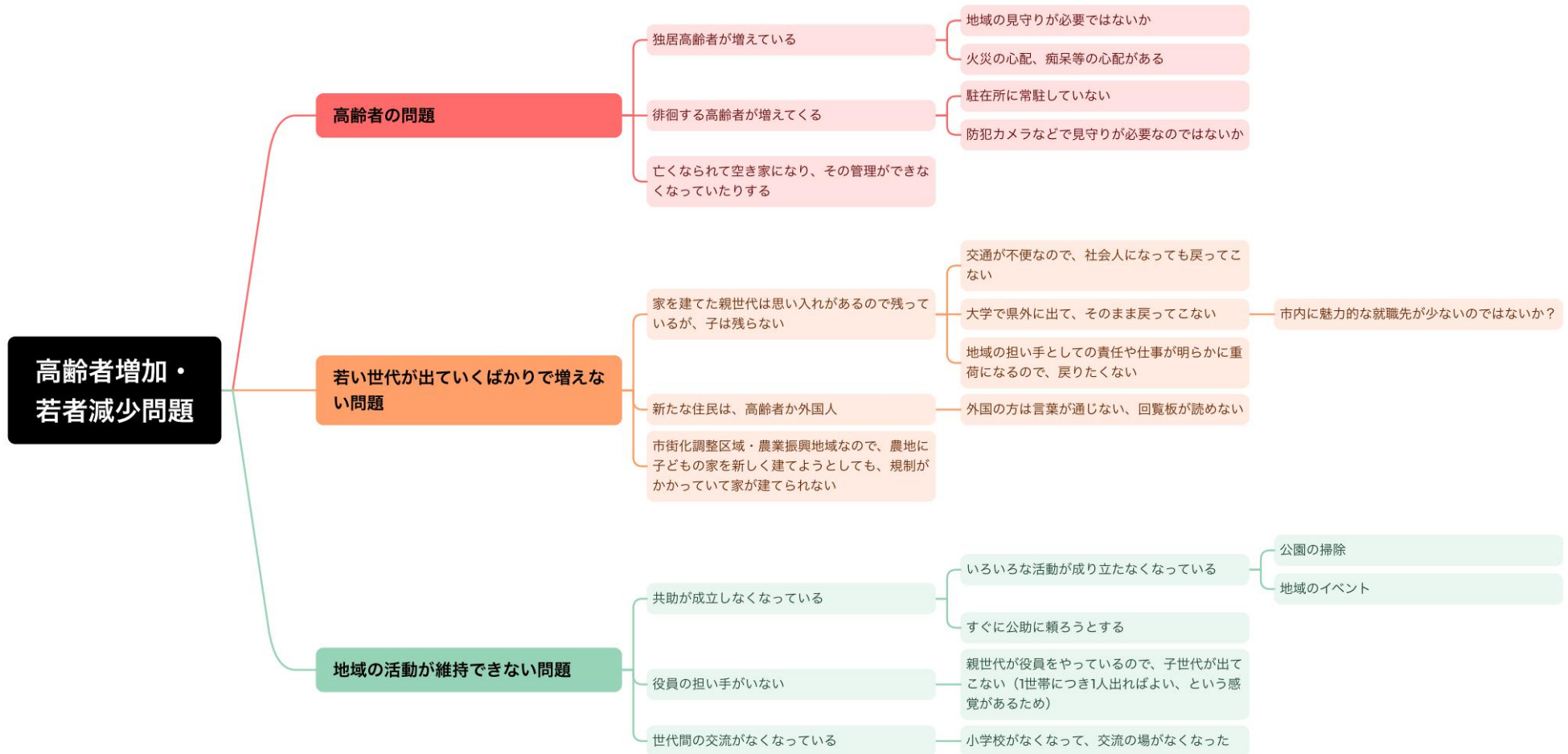




SCRUM-T

課題抽出ワークショップ

マインドマップ | 課題② | 高齢者増加・若者減少問題

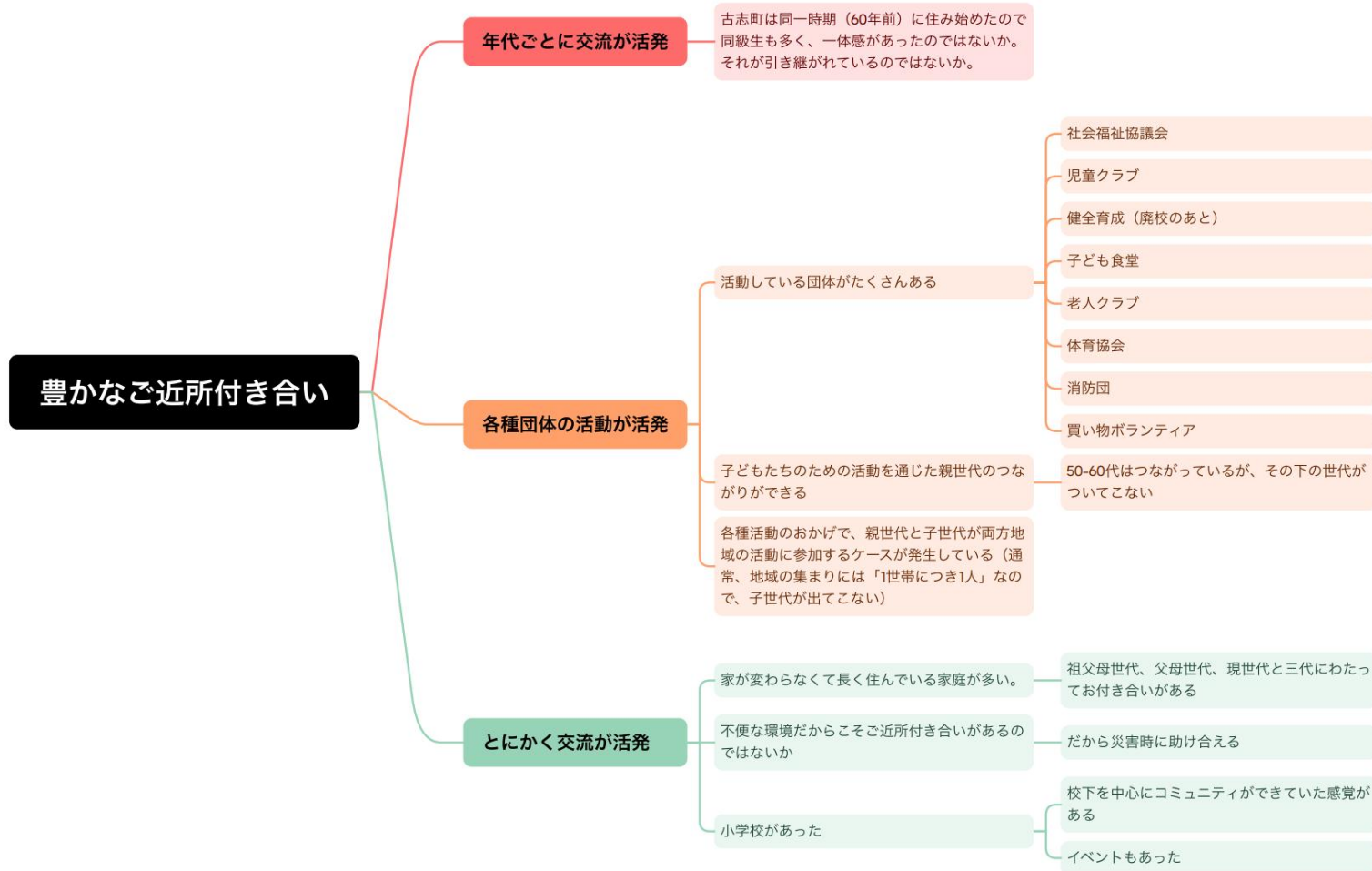




SCRUM-T

課題抽出ワークショップ

マインドマップ | 強み | 豊かな近所付き合い



浜黒崎地区の住民の皆様が解決したい主な問題

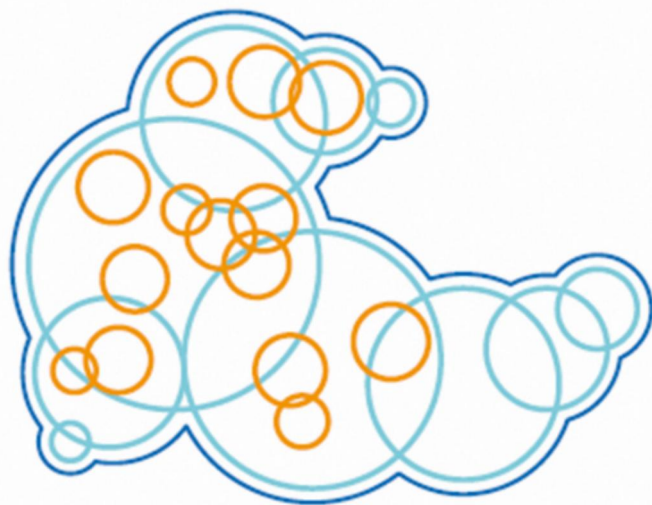
地区内を横断する県道1号線までの南北移動問題

地区内で買い物などができる店がほとんどない問題

夜中に海岸を訪れる外部の人による治安問題

もちろん、これら以外の提案もお待ちしております！

産学官民の共創で推進する 市民中心のスマートシティ



Smart City TQYAMA

